

「デリヘル」って言葉、ご存知でしたか？

以前、若者からの問いかけがあり、当 HP で「『セックスボランティア』の言葉を聞いて（「雑学 BN」の「福祉・教育・医療関係（Ⅱ）」P、2004.11.01.：参照）」を掲載したことがある。

その中で障害者の性の問題も、「日本も、いよいよこうした論議が始まる時代に入ったのかなあと感じている。」と記した。

そのことが頭のどこかに残っていたのか、新聞の書籍広告欄で書籍名が目にとまったことがあったが、すっかり忘れていた。

授業再開の4月までの冬眠生活を決め込んでいたのでそのお供に読書でも……と思い、書店であれこれ本を探していた時、たまたま、書棚にこの本があることに気づき、ついでにこの本も…と思い買った。

障害者向けのデリヘル嬢の手記であった。

こうした側面に自分はおくて（？）なのか、「デリヘル」という言葉を初めて目にし、意味はさっぱり??。

先の記載記事で、障害者の性の問題に向き合う NPO 活動を立ち上げた CP の青年のことにも触れたが、セックスボランティアや、NPO どころか、障害者の性を対象とした職業もあるということを初めて知った。

「日本も、いよいよこうした論議が始まる時代に入った」どころか、もう自分の予想をはるかに越えて現実が進んでいるようである。

障害がある、なしに拘わらず、こうした側面は、全くのプライバシーのことと思うので、この本の内容の概略や読後感は差し控えたい。

こうした問題に関心のある方は、ご自身で web 検索するなりしてください。

（2006年2月9日 記）